



SDGs宣言書

2023年3月16日

大藤造園株式会社

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた取組みを以下の通り宣言します。

| カテゴリ | テーマ | 具体的な取組み | SDGsゴール |
|--------------|-------------------|---|---|
| 人権・労働 | 人材育成 | 従業員それぞれの役割に応じた資格の取得を支援しております。 ・特別教育、技能講習等の年間スケジュールの策定と定期的な見直しを実施しております。 ・施工管理、技能士等の国家試験の研修受講支援と、受講料等資格取得関連費用の補助を実施しております。 | 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに |
| | 職場環境の整備 | 従業員一人一人が健康で働きやすい職場環境を整備しております。 ・定期健康診断を近隣の医院と提携し、実施しております。 ・年次有給休暇の取得促進に努め、残業申告制により長時間労働の抑制に取り組んでおります。 ・夏期には熱中症対策用品、冬期には防寒用品を従業員に支給する等、労働環境の改善に努めております。 | 8 働きがいも経済成長も |
| 環境 | 脱炭素・省エネ環境負荷低減 | 温室効果ガスの削減と3Rに取り組み、環境に配慮した事業活動を目指しております。 ・機械や工具等のエンジン式から充電/バッテリー式への変更や、照明器具のLED化等、CO2排出量の削減に向けた取組みを実施してまいります。 ・事務用品のグリーン購入やペーパーレスの推進、建設工事における再生骨材、高炉セメント等の使用により、環境負荷低減に努めております。 | 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を |
| 内部管理 組織体制 | 情報収集・開示 | お客様や業者との情報交換を通じて、検討と改善を行い、ニーズに合ったサービスの提供に努めてまいります。 ・お客様や地域との交流により、積極的な情報発信・情報収集に努めてまいります。 ・川俣町の建設同業会、福島県の造園建設業協会等との交流を通じて、業界全体での課題共有・解決に努めてまいります。 | 9 産業と雇用革新の加速につなぐ 11 住み続けられるまちづくりを |
| | DXの推進 | DXの推進により、業務の効率化や新たなデジタル技術を活用した提案を行ってまいります。 ・造園工事において、お客様が一目で分かるよう図面の3Dデザイン化を利用し、提案から施工を行っております。 ・ITの担当者を配置し、データやデジタル技術の活用の取組みを推進・サポートする体制を整えております。 | 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう |
| 製品・サービス | 環境配慮設計 | 環境への負荷が少ない資材を活用し、お客様が長期にわたって安全で健康に過ごすことができる美しい景観をイメージして、設計を行ってまいります。 ・植栽による緑化の推進を通じて、温暖化の抑制を図っております。 ・造園工事において、可能な限り浸透式排水の工法を採用し、雨水の循環を促しております。 ・雨水を利用した鑑賞池の設計や現場作業において発生した土による築山の設計等、環境に配慮した造園を行っております。 | 6 安全な水とトイレを世界中に 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさも守ろう |
| 社会貢献 地域貢献 | 地域経済の活性化 地域づくり | 地域密着の活動により地域経済の活性化と持続可能な地域づくりに取り組んでおります。 ・地域人材の採用を積極的に行っております。 ・地元のコスキン祭りへの植栽の提供や緑化推進委員会への寄付により、地域に貢献しております。 ・造園建設業協会・建設同業会を通じて、町内の清掃作業や公園等の剪定・除草作業をボランティアで行っております。 ・自然災害時の復旧作業や農業用水路の管理・修繕を行っております。 | 8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリシップで目標を達成しよう |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは

「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」の略称です。2015年9月、国連の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で設定された、2030年を期限とする17のゴール(目標)と169のターゲットのことで、2030年までに、あらゆる貧困に終止符を打ち、不平等を是正し、気候変動に対処するなど「誰一人置き去りにしない」ための取組みを掲げています。